



農委だより 常総

平成26年9月1日発行
第 17 号

〒303-8501

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3

電話 0297-23-2111(代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会

農業委員会が新体制でスタート

会長に倉持創一氏 同職務代理者に倉金一廣氏

任期満了に伴う常総市農業委員会委員選挙が6月29

日告示、同日届出が行われ、定数の20人の立候補があり、無投票当選となりました。

公選による委員20名と市議会からの推薦による学識経験者として3名、農業協同組合及び農業共済組合並びに土地改良区から推薦された各1名、計26名による構成です。学識経験者の内2名は女性農業委員です。で、今後ともよろしくお願ひします。

また、7月31日には新メンバーによる臨時総会が開催され、会長に倉持創一氏、同職務代理者に倉金一廣氏が就任され、新体制による農業委員会がスタートしました。

なお、市及び各種協議会等の委員は次のとおりです。
(敬称略・順不同)

●市総合計画審議会委員
倉持 創一

●市環境審議会委員
倉持 創一

●市農業再生協議会委員
倉持 創一・倉金 一廣

●増田 亮・石塚 寛一

●岡野 孝一・門井 貢

●菊地 義男

●市農業振興地域整備促進協議会委員
倉持 創一・倉金 一廣

●霞ヶ浦用水建設推進協議会常総支部委員
倉持 創一・倉金 一廣

●石塚 寛一・田村 匡史

●中島 清・岡野 孝一

●鈴木 将之・小磯 重治

●横島 文雄・菊地 義男

●内海 浩之・菊地まち子

●稲葉 元一・渡邊 政一

●市農林航空防除実施協議会委員
倉持 創一

会長就任にあたって



倉持創一会長

残暑の候、皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、改選後の臨時総会において、ご推挙を賜り会長に就任いたしました。会長として早くも3期目の出発となります。身が引き締まる思いと共に、その職務の重大さ、責任の大きさを痛感し、新たな決意を持ちまして、地域農業の振興また常総市農業委員会の発展のために、誠心誠意努力する所存でございます。さて、当市における農業の現状は、近年の急激な社会情勢の変化に伴い、農家人口の減少、農業従事者の高齢化、農業後継者の不足、耕作放棄地の拡大、加えて福島原発の事故に伴う風評被害による国内農産物価格の低迷等、様々な課題を抱えております。

また、アベノミクスにおける第3の矢、成長戦略と規制改革では、農業分野の取組みとして、今後10年間で農業・農村の所得倍増を目標に掲げ、全農地面積の8割を担い手に集約(中間管理機構の新設)、企業の農業参入の緩和、米の生産調整の見直し、農協改革・農業委員会改革等、これからの3年間で農業改革の重要な位置づけとなりかねません。

こうした中、当市農業委員会は農業者の公的代表としての農業委員会の役割である、かけがえのない農地や担い手を守り、耕作放棄地等の解消を図りながら、農家が安心して、営農と生活が継続できる環境や農業生産基盤の構築を改めて確認し、地域農業の振興に向けた取り組みを強化して参りたいと考えておりますので、皆様方の一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

農地調査班編成

(敬称略) ●印は班長

1班

(旧水海道鬼怒川東部)

●増田 亮

●橋本 武夫

●喜見山 勝一

●渡辺 喜一

●山野井 喜仁

●和田 勇

2班

(旧水海道鬼怒川西部)

●石塚 寛一

●田村 匡史

●中島 亮

●飯田 真由美

3班

(旧水海道鬼怒川南部)

●岡野 孝一

●鈴木 将之

●横島 文雄

●小磯 重治

●倉持 創一

4班

(旧石下鬼怒川東部)

●門井 正男

●山崎 松廣

●田村 一廣

●倉金 洋一

●斉藤 隆志

●沼尻 隆志

5班

(旧石下鬼怒川西部)

●菊地 義男

●内海 浩之

●稲葉 元一

●渡邊 政一

●菊地まち子

新農業委員紹介

あなたの地区の農業委員をよろしく願います。
 農地の賃貸、転用、農業者年金など、農業に関することは私たちにご相談ください。
 (上から、氏名、住所、公選・選任の別、就任期数) 敬称略、議席番号順



田崎 松男
 豊田
 (公選) 1期



山木 正男
 東野原
 (公選) 1期



菊地 義男
 崎房
 (公選) 2期



小磯 重治
 内守谷町
 (推薦) 1期



岡野 孝一
 坂手町
 (公選) 4期



沼尻 隆志
 東野原
 (推薦) 1期



石塚 寛一
 大輪町
 (公選) 7期



飯田真由美
 三坂町
 (推薦) 1期



渡辺 勝一
 長助町
 (公選) 4期



喜見山 明
 水海道天満町
 (公選) 9期



菊地まち子
 崎房
 (推薦) 1期



門井 貢
 若宮戸
 (公選) 3期



横島 文雄
 大塚戸町
 (公選) 2期



渡邊 政一
 篠山
 (公選) 1期



田村 匡史
 大生郷新田町
 (公選) 3期



橋本 武夫
 上蛇町
 (公選) 4期



中島 清
 豊岡町
 (公選) 1期



内海 浩之
 杉山
 (公選) 2期



斉藤洋一郎
 原宿
 (推薦) 1期



倉持 創一
 菅生町
 (推薦) 10期



倉金 一廣
 本石下
 (公選) 3期



増田 亮
 三坂町
 (公選) 6期



稲葉 元一
 古間木
 (公選) 1期



鈴木 将之
 内守谷町
 (公選) 2期



和田 勇
 中山町
 (公選) 2期



山野井喜仁
 水海道山田町
 (公選) 2期

退任された

農業委員

秋田文男委員が逝去
 去る7月4日、農業委員の秋田文男氏が逝去されました。
 秋田氏は平成18年7月農業委員に就任以来、農業行政にご尽力いただきました。ここに、秋田氏に対し、甚なる哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

このたびの改選に伴い、次の方々が農業委員を退任されました。多大なる業績に対し、深く敬意を表します。
 長い間、本当にご苦勞様でした。(敬称略、○数字は就任期数)

- | | | | | | | |
|------|------|-------|-------|------|-----|------|
| 菊田政光 | 相入とし | 坂谷ミチ子 | 古谷信太郎 | 中山静枝 | 中田秀 | 倉持一仍 |
| ① | ① | ① | ② | ② | ③ | ④ |
| | | | | | | ⑤ |

実験圃場

青パイヤを栽培

農業委員会では、耕作放棄地に何か適した作物がないかと、常総市でもまだ珍しい「青パイヤ」を実験的に市内4カ所にて栽培を始めました。

農業委員も青パイヤの栽培は初めての方が多く、手探り状態での苗植えとなりました。青パイヤは熱帯性の植物のため、5月の気候では寒かったのか、なかなか大きくなりないので心配でしたが、7月に入り気温が上がると一緒に大きくなり始め、たくさんの実がなりそうです。

手作りの看板(写真のとおり)を立て



青パイヤの圃場 (5月撮影)

てましたので、近くを訪れた際は青パイヤの成長を見ていただきたいと思います。

栽培箇所は、

- ① 中妻町のカントリーから西側
- ② 大輪町のLPガス事業所西側
- ③ 菅生町畑総内の別雷神社南側
- ④ 向石下のパチンコ店北側

また7月30日の総会では各地区での発育の様子をスライド上映し、栽培に對しての奮闘や失敗談など、和気あいあいと話合いました。

今後は青パイヤ栽培のノウハウやおいしい食べ方なども研究しつつ、取組みの成果を生かして、耕作放棄地解消に一役買うような作物(植物)を探したいと考えています。



青パイヤの圃場 (7月撮影)

農林水産大臣表彰

去る5月15日大洗町のシーサイドホテルにおいて、茨城県農業会議主催の農林水産大臣表彰の伝達式がありました。

常総市においても農業振興に功績があったとして市農業委員会会長の倉持創一氏が農林水産大臣賞を受賞されました。

倉持氏は昭和62年から農業委員として農業の発展と農業者の地位向上に尽力され、平成20年からは会長として、茨城県農業会議の常任会議員としての役職を務めており、農業行政に貢献したことが認められたものです。

また、合わせて常総市農業委員会も同賞を受賞いたしました。



伝達式の様子

農業者年金に加入しましょう

自分の老後は自分で守るといわれる時代。農業経営と老後をがっちりサポートします。

納めた保険料が全額社会保険料控除になるなど税制面の優遇措置があります。次の3つの加入要件を満たせばだれでも加入できます。配偶者や後継者なども安心して加入いただけます。

要件

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者

詳しくは、地元の農業委員又は農業委員会事務局までご連絡ください。

TEL 2319013

農地の売買、貸借、転用等は、農業委員会に申請が必要です

常総市農業委員会では、農地法3条・4条・5条・18条・現況証明及び相続の届出書等の申請書並びに添付書類を常総市のホームページに掲載しましたので、ご活用下さい。

なお、申請締切は毎月10日。



平成25年 農地の賃借料情報

平成25年1月から12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10aあたり）は、以下のとおりとなっております。

1 田(水稲)の部

(平成26年4月1日公表)

締結（公告）された地域名		平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数 (件)
旧水海道市	基盤整備地域	17,900	27,500	5,500	390
	未整備地域	17,100	22,000	10,000	220
旧石下町	基盤整備地域	17,400	26,000	10,000	70
	未整備地域	16,800	22,000	10,000	38
(参考) 常総市平均		17,300			718

2 畑(普通畑)の部

締結（公告）された地域名		平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数 (件)
旧水海道市全域		8,500	10,000	3,000	28
旧石下町全域		13,200	20,000	10,000	13
(参考) 常総市平均		10,600			41

- * 1 農地法第52条の規定により、賃借料の目安として提供するものです。
- * 2 平成25年中に実際に締結された賃貸借契約の賃借料データを集計したものです。
- * 3 基盤整備地域とは、土地改良などにより圃場整備が完了している地域です。
- * 4 データ数は、集計に用いた筆数です。
- * 5 賃借料を物納支給(水稲)としている場合は、60kg当たり11,000円に換算しています。
- * 6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- * 7 「(参考)常総市平均」の平均額は、各区分の平均値（四捨五入前）をデータ数により加重平均した値です。

【問合せ】 農業委員会事務局 23-9013・9018

農地賃借の新しい 仕組みです

中間管理機構を新設し、借
受けた農地を認定農業者等の
担い手に貸付、農地利用を促
進します。

また、農業委員会でも、農
業経営基盤促進法による「利
用権の設定」も今まで通り行
い、担い手に農地の利用集積
を進めます。

「利用権設定」した農地は
期間が終了すれば必ず返って
きます。なお、期間終了のお
知らせをしますので、賃借の
更新、または、終了をそのつ
ど決められます。

詳しくは農業委員会事務局
まで。

農委だよりの 新編集委員

- 倉金 一廣 (委員長)
倉持 創一・山野井喜仁
和田 勇・中島 清
飯田真由美・鈴木 将之
小磯 重治・山木 正男
田崎 松男・渡邊 政一
菊地まち子 (敬称略)
- 新体制でのスタートとなり

ます。農家の皆さんに喜んで
いただける「農委だより常総」
をお届けできるよう頑張りま
す。



平成26年4月9日、全国農
業会議所主催の第20回全国農
業委員会、たよりコンクールに
おいて、農業新聞賞を受賞い
たしました。「農委だより常
総」は、農家に身近な広報紙
としての評価を受けての受賞
となったものです。

また、この農委だより常総
17号は、3年に一度の農業委
員の改選後初めてですので、
新農業委員の紹介がメインと
なりました。次号からまた、
新編集委員のもと農家に密着
した記事をお届けできるよう
頑張りますので、よろしくお
願います。

営農と暮らしに役立つ



発行日 毎週金曜日
購読料 一月六百元
申込みは農業委員会へ